

2026年2月吉日

ASCoT 茶論（常設公開講座）への出席ご案内

NPO法人コンクリート技術支援機構（ASCoT）では、さらなる人材育成と技術の革新を推し進めるため、多くの方々と双方向での技術交流ができる場として「ASCoT茶論」を開設しております。

さて、今回の茶論は、(株)安部日鋼工業 石井豪氏による、プレキャストプレストレストコンクリート（PCaPC）部材における混和材利用による高機能化（耐酸性向上・副次的なCO₂削減）の研究開発と実装に関する話題をご紹介します。現場施工の生産性の向上のためのプレキャスト化や耐酸性付与・環境負荷低減策のための混和材利用の取組みは、社会要求に資する技術である一方で、「性能が良いこと」だけでは本採用に至りにくいという実務上の課題が存在しています。これらの研究開発における技術を実装に繋げるための取組みについてご講演いただきますので、ぜひご参加ください。

特定非営利活動法人・コンクリート技術支援機構（ASCoT）

理事長 畑中 重光（三重大学 名誉教授）

担当理事 朴 相俊（金城学院大学 教授）

第60回 開催要項

論者： (株)安部日鋼工業 技術工務本部 技術開発部 石井 豪 氏

演題： 「PCaPC×混和材：使えるのに使い切れない理由」

概要： PCaPC 容器構造では、酸性環境下での表層劣化や断面減少が維持管理上の課題となる一方、低炭素化・資源循環の要請を背景に、混和材の活用による CO₂ 削減も同時に求められている。これらのニーズに対応可能な PCaPC 部材の開発を行い、実構造物への実装を進めている。PC 容器構造の構築に要求されるコンクリートの設計・施工に関するコンクリート及び部材の特性を確保できる強度と耐酸性の両立のための混和材の大量置換を主とする配合設計の確立と、実物模擬部材を用いた力学性能の検証を経た上で、部材製造時に比較的早期に耐酸性能を評価する方法をパッケージとして提案している。これらの技術的な要求性能の評価手法を確立した状況においても、実施行への適用のハードルは高い。発注者・元請等の反応から、新技術の採用に慎重な姿勢が示される事例も経験しており、その背景として「前例・第三者性（いわゆるお墨付き）の不足」「監督・検査として運用可能な形の不足」「不具合時の責任分担の不明確さ」等が意思決定上のハードルとなる事例は少なくない。そこで、本茶論では、ここで紹介する「PCaPC×混和材」による耐酸性向上に関する新技術の開発から実装の取組みを題材として、技術を実装に繋げるためのアプローチについて、広く皆さまのご意見をいただきディスカッションできればと思います。

日 時： 2026年 3月 6日（金） 15:00～16:00（話題提供～意見交換）

開催方法： Zoom による Web 開催

参加費： 無料

定 員： 25名

第60回 ASCoT茶論 参加申込書

2026年 月 日

ご氏名		
ご所属		
連絡先	電話	
	F A X	
	メールアドレス	
ASCOT 会員の有無	会員	会員外

1. お申込み先

ASCoT 事務所 担当：藤岡
〒464-0003 名古屋市千種区新西 2-3-6
TEL：052-979-2107

2. お申込み方法

以下のEメールまたはFAXでお願いいたします。
メール：t.fujioka@renotec.co.jp
FAX：052-937-6553

3. お申込み期限

3月 2日（月）

4. お申込み後のご案内について

お申込者には、開催日までに、招待メール（Zoom ミーティングのURL、ミーティングID及びパスコード）を、申込書に記載のメールアドレス宛に送らせていただきます。
また、参加に際しまして、録画は禁止とさせていただきますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

※ 個人情報保護法の施行により、参加申込書で得た個人情報は、茶論運営のために必要な連絡や名簿等の作成以外に使用することはありません。

以上